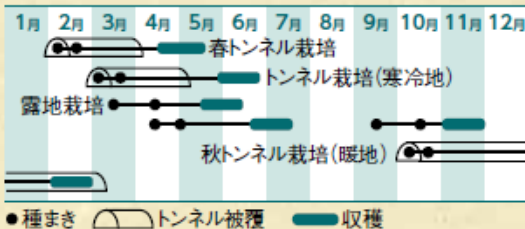




品種
・「スワン」「あやめ雪」

栽培カレンダー



カブ

栽培のポイント

①栽培の適期は春と秋

冷涼な気候を好み、生育適温は15～20℃です。高温に弱く、盛夏は根の肥大が悪くなり品質も劣るので避けるようにしましょう。栽培の適期は春と秋ですが、春はあまり早く種をまくとトウ立ちするので注意が必要です。

②品種に合った間引きをしましょう

タネをまいて3～4日で発芽します。間引きは葉が重ならない程度にして、残す株の根を傷めないように。大カブ・小カブなど品種に合った株間をあけて、健全に育てましょう。

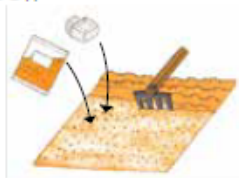
③乾燥に注意

保水性や排水性に富む畑を選びましょう。土が乾きすぎると裂根の原因になるので、適度な水やりを心掛けましょう。

1 畑の準備

〈1㎡当たり〉
化成肥料: 大さじ5杯
油粕: 大さじ8杯

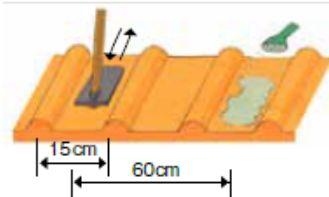
畑は早めに石灰を施し、20cmくらいの深さによく耕しておく。種まきの数日前に肥料を畑全面にばらまき、15cmくらいの深さにもう一度耕す



2 まき溝づくり

溝まきの場合

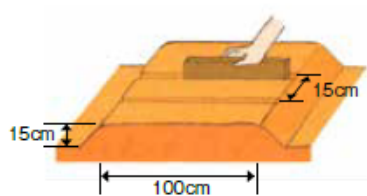
種が小さいので、溝の底面をていねいにならしておくことが大切。鍬を細かく動かして底の土を砕く



溝いっぱいにはみ出さないように灌水すると底面がきれいに平らになる

ベッドまきの場合

ベッドの表面をできるだけ平らにならしてから、板切れを押さえつけてまき溝をつける

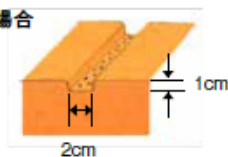


3 種まき

溝まきの場合

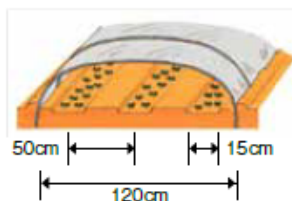
種は1.5～2cm間隔に、まき溝全面にていねいまく。覆土は1cmくらい

ベッドまきの場合



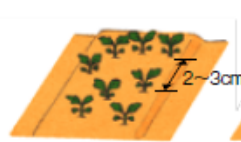
4 トンネル保温

2月上～下旬に種まきし、トンネルを覆う。幅180cmのフィルムなら3列まき。発芽後しばらくの間は密閉してよいが、本葉1～2枚のころから日中とところどころ覆を開けたり、頂部に小穴をあけて換気する

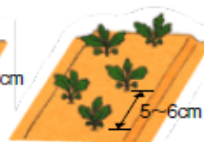


5 間引き

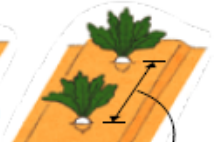
本葉1枚のころ
第1回間引き



本葉3枚のころ
第2回間引き



本葉5～6枚のころ
最終間引き



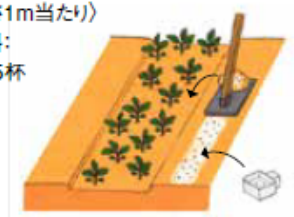
小カブは8～10cm
大カブは15～17cmくらい

6 追肥

溝まきの場合

第2回、第3回の間引き後、畝の片側にばらまき、土と混ぜるように鍬を入れ、株元に寄せるようにする

〈畝の長さ1m当たり〉
化成肥料:
大さじ5杯



ベッドまきの場合

第2回間引きをした後、畝間に追肥し、土を軽く耕し込む

〈1㎡当たり〉
化成肥料:
大さじ5杯



7 害虫防除

小さいうちからコナガ、ヨトウムシ、アブラムシなどの害虫に食害されやすいので、殺虫剤を散布したり(葉の裏からも入念に)、べた掛け資材を直接葉の上に覆ったりする。

8 収穫

根が太りしだい、間引き収穫して食べる。若いうちは葉もおいしい

✂ キリトリ線に沿ってお切りください